

「クリアキャンドル」の指導手順

準備物一覧

★交流の家準備物

- ①電磁調理器【1～2台】 ②やかん【1～2個】 ③グラス【人数分】
- ④芯ひも【人数分】 ⑤白い皿【人数分】 ⑥ろうジェル【3人で1袋】
- ⑦青のカゴ【班数分】※6人用・7人用があります。
（カラーサンド（7色）、貝がら、ビー玉、スプーン、ピンセット、はさみ）
- ⑧ピンクのカゴ（補充用サンド・ゴミ袋・割り箸 等）
- ⑨見本【班数】 ⑩指導手順・説明用資料【各1部】

★団体準備物

新聞紙

指導内容

0. 会場を準備する



- ①机・椅子を向かい合わせにし、6～7人の班を作る。机の上に持参した新聞紙を敷く。
- ②研修室の前に机を置き、補充用の砂を設置する。
- ③電磁調理器とやかんを設置する。
（コンセント近く）
- ④机を設置して、ジェルをいれる場所をつくる。
- ⑤説明用資料をホワイトボードにはる。

②



③



《ジェルをあたためる》

「7. ジェルをいれる」までに、やかんにジェルを入れて、とかしておく。ジェル1袋約3人分。電磁調理器の温度は目盛り「2～3」で、ゆっくりあたためる。こげないように時々、割り箸でかき混ぜる。

※ジェルが全てとけたら、目盛りは「2」にしておくとよい。

1. 道具を机の上に準備する



- ①グラス・芯ひも・小皿を人数分配付する。
- ②青のカゴを1班1つ配付する。
- ③青のカゴの砂7色、スプーン7本、貝がら、ビー玉、ピンセットを机に出す。

注意

スプーンは1色につき1本使用する。色によってスプーンを変えることで、砂が混ざること防止。

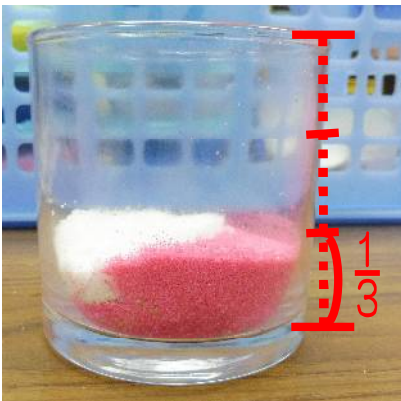
2. グラスに1色目を入れる



注意

砂をグラスに入れる際は、こぼれないように、グラスを白い皿に置いて行う

3. 3分の1の高さまで、砂を入れる



貝がらやビー玉を砂の上に置くので、砂は3分の1程度の高さがきれいに仕上がる。

4. 貝がらとビー玉をのせる



貝がらとビー玉を砂の上にのせる。細かい作業のときはピンセットを使う。

注意

- ビー玉は3個/人、貝殻5個/人まで使用できます。
- ビー玉と貝がらは、グラスの側面にくっつかないようにする

5. ジェルをいれて、固まるまで30分ほど待つ。(危ないので、大人が行う)



1 cm



グラスを白い皿に入れたまま、ジェルをいれる場所まで持ってきてもらう。グラスのふちから1 cm程度までジェルをゆっくりいれる。いれたら、自分の席に持ち帰る。

注意

勢いよくいれると砂が移動してしまうので、ゆっくりいれる。ビー玉をねらうといれやすい。

ジェルが熱いので、注意する。

固まるまで30分ほどかかるので、その間に、砂の補充や片付けを行うとよい。

6. ジェルが固まったら、グラスの中心にひもを垂直に差し込む。



差し込む深さにより燃える時間が変わります。

- ・長時間キャンドルに火をつける場合
⇒深めにジェルにひもを差し込む。
- ・短時間キャンドルに火をつける場合
⇒ひもを浅めに差し込み、ジェルの表面から約5mm～1 cmくらいの高さを目安にひもを切る

7. 完成



時間があれば、作品を見せ合い、感想等を話し合うとよい。

8. 片付け・掃除をする

- ①研修室の前に設置した補充用の砂から、タッパの線まで砂を補充する。
- ②ビー玉と貝殻を補充する。
- ③道具の数を確認し、片付ける。
- ④机・椅子を元どおりに戻す。
- ⑤床をモップや掃除機できれいにし、机の上をぞうきんでふく。
- ⑥片付けた道具を教材室の机の上へ戻す。(やかんの中のジェルは洗わずそのまま残しておく。)
- ⑦「活動後確認カード」にチェックし、活動で出たゴミとともに事務室へ持ってくる。